

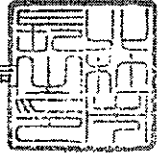
北杜道河第3156号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

北杜市長

白倉 政司



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山梨県 北杜市

・ 少子高齢化の進行や人口減少社会の到来により生産力、税収などの減少が予想され財政的制約が厳しくなり合理的かつ効率的な維持管理が緊急の課題となってきました。そのため、事業実施については地域のニーズや課題等を適切に把握し、厳格な事業効果の検討により地域住民にも事業実施における透明性を共有できることが重要である。そのため、事業効果の検討手法を市町村でも計画段階で活用できるようにマニュアル化を要望します。

・ 公共土木施設の効率的な更新・維持管理を実施していくためには、従来の一般型管理（事後的保全）から長寿命化型管理（予防的保全）へと転換し、既存の施設の健全性の低下を防止し、長寿命化を図る（長く使用する）ことで、コストの縮減へも繋げていくことができます。そのため、北杜市では公共土木施設のなかで重要な橋梁について、平成 20、21 年度に橋梁長寿命化計画を策定し、計画的に維持補修・補強等実施していく予定です。しかし、現在の維持補修・補強等の補助事業、交付税等の国の施策では実施の困難が予想されるので新しい補助事業の創設と採択基準の緩和、補助率増嵩等、市町村に対する財政の支援が、今後の道路行政について必要不可欠ですので財源確保を要望します。

・ 道路構造令のあり方についてアンケート調査があったのでその意見を反映し、地域の実情にあった道路整備ができるよう柔軟な規定の見直しと道路整備に対しての財源確保を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

山梨県 北杜市

○現状

本市は県内で最大の面積 602.89km² を有する地域であり、中央自動車道が市内を縦断し、東京都心から約 2 時間でアクセスできます。

道路網は、国道 20 号及び 141 号と主要地方道、一般県道これらに接続する市道で構成されており、産業基盤をなす動脈であるとともに生活圏域を結ぶ役目も果たしていますが、国道 20 号及び 141 号については渋滞損失時間が高い交差点や交通事故が連続している箇所があるなど更なる整備が必要となっています。

また、市道については、幅員が狭い区間や屈曲・急勾配の区間など車輛等の通行に支障をきたす路線が多く、市民の日常生活活動の利便性の向上や産業活動の効率化を図るためにも整備が必要です。

○課題

道路整備については厳しい財政状況の中で、これまでも増して緊急性や投資効果を十分考慮するとともに可能な限りのコスト削減を図る努力が求められています。

また、本市には自然を活かした森林療養・温泉セラピー・農林業体験などができる環境に恵まれ、多くの芸術・文化施設があり、人と自然と文化に触れ合いながら人生の幅を広げ、明日への活力を蓄えられる地域であることから、平成 19 年 6 月 2 日に「長期滞在型リトリートの杜」を宣言しました。そのため、市では観光振興に力を入れ、集客力の増加のための地域の魅力度の更なる向上に取り組むためにも、道路整備が必要となっています。

市道の維持管理については安全で快適な市民生活を確保するため常時良好な状態に保ち、適切な維持管理が求められています。現在、市民の協力により、集落内の市道を中心に、除草・側溝清掃等の適切な維持管理に努めていますが、生活道路の整備は、土地問題もあり、市民のより一層の理解が必要となっています。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

山梨県 北杜市

地域内外における医療・教育・福祉・観光施設などの公共公益施設へのアクセス経路を確保するために国道、県道、市道を中心とした利便性の高い基幹道路網の整備を促進するとともに、地域内コミュニティを確保するために、重要度・緊急度・投資効果等を考慮した中で北杜市建設計画を見直し、安全・安心して利用できるようにユニバーサルデザインに基づいた整備の推進が必要であります。

また、既存の公共土木施設については、傷んだら直すという従来の考え方から、傷みが小さいうちに手入れする予防保全型管理に転換し、施設の長寿命化を図ることにより財政の平準化を図り、施設の更新費による財政負担や、通行規制等による経済的・社会的損失とならないように計画的に維持管理して行くことが重要である。

そのため、道路の維持管理についてのソフト事業、ハード事業のより一層の財源確保が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

山梨県 北杜市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等
・生活環境の向上	・国道 141 号をはじめとした八ヶ岳南麓等の観光道路について、ゆずりあい車線の整備、景観スポットでの停車帯や駐車場の整備。また、景観形成に重点をおいた道路工事の実施。 ・J R 中央線長坂駅周辺の（主）長坂高根線の歩道フラット化 ・電線の地中化	・自然景観を楽しむ道路 ・観光リピーターを更に創出 ・景観付加価値の創出 ・沿道の景観向上 ・地域振興（沿道商店街の活性化） ・道路利用者、歩行者の快適な道路空間の提供
・交通安全の向上	・（主）茅野北杜韮崎線：北杜市長坂町長坂本町の J R 中央線ガード下交差点の拡幅事業の推進 ・（一）清里須玉線：北杜市須玉町海岸寺改良事業の推進 ・（主）茅野北杜韮崎線、（主）韮崎増富線、国道 141 号の歩道設置事業の推進	・防災、災害時の代替えルートの確保 ・歩行者・通行車両の安全性の向上
・慢性的な渋滞への対策	・国道 20 号：北杜市武川町牧原交差点改良事業の推進	・慢性的な渋滞、渋滞による排気ガス等、地域の生活環境の改善
・防災、減災対策	・（一）横手日野春停車場線の駒城橋架け替え	・災害に対する地域住民の不安要素の解消と安全確保

・安全・安心で計画的な道路管理 ・基幹ネットワークの整備	・公共土木施設の長寿命化 ・橋梁維持管理（橋梁長寿命化修繕計画による事業の推進） ・中部横断自動車道の早期実現に向けての推進	・計画的な維持管理によりコスト削減を図る ・道路利用者、歩行者の安全確保 ・交流圏域の拡大することによって、広域観光ゾーンの形成が図られ、観光施策と一体となって、観光客の増加に繋げた取り組みが可能となり、観光振興に資する。 ・防災、災害時の代替ルートの確保
---	--	---